



阪神間モダニズムの聖地

甲子園モダニズム建築探訪

5分

スタート JR甲子園口駅 北改札口

ゴール

マンボウトンネル

人ひとりがやっと通れる大きさのトンネル。JR線の下に水路として利用されていたものに板を敷いているため大変狭く、通行には、譲り合う暗黙のルールがあるようです。

10分

松山大学温山記念会館

武庫川

20分

枝川樋門

阪神間の都市形成にも大きな影響を与えた歴史を伝えるモニュメントが、この枝川樋門（ひもん）です。治水で安全性が高まった鳴尾が住宅地として発展する端緒（たんしょ）となりました。

10分

武庫川女子大学 甲子園会館（旧甲子園ホテル）

武庫大橋

増田淳氏の指導のもと、1925年から1年4か月をかけて完成し、橋の中央部にバルコニーがあり高欄は北木石で造られています。橋の欄干の街灯の灯る夕暮れ時は、往時のロマンティックな雰囲気を感じ出しています。

武庫川女子大学甲子園会館
(旧甲子園ホテル)

●通常は非公開に指定されています。ご興味のある方は下記までお問い合わせください

連絡先
〒663-8121
兵庫県西宮市戸崎町1-13
武庫川学院 甲子園会館 庶務課
電話番号 0798-67-0290
<見学受付専用ダイヤル>
注) 受付時間は月曜日～金曜日の10時から16時まで



武庫川女子大学
甲子園会館
(旧甲子園ホテル)

甲子園会館(旧甲子園ホテル)は日本に残る数少ないライト式の建築であり、国の近代化産業遺産および登録有形文化財に登録されています。帝国ホテルの常務取締役でホテル界の第一人者といわれた林愛作氏の理想にもとづき、フランク・ロイド・ライト氏の愛弟子遠藤新氏が設計しました。中央に玄関・フロント・メインロビーを置き、左右に大きくメインダイニングとバンケットルームを張り出し、その両翼の上階に、集約された客室群を階段状に配した構成となっています。「打出の小槌」を主題にしたオーナメントや緑釉瓦、西ホールの天井に見られる市松格子など、日本の伝統美が随所に取り入れられ、壮麗な洋風建築の空間と巧みに調和しています。

松山大学温山記念会館

●通常は非公開に指定されています。ご興味のある方は下記までお問い合わせください

連絡先
〒790-8578
愛媛県松山市文京町4-2
松山大学学生部学生課
TEL (089)926-7149(直通)



松山大学温山記念会館

松山大学の創立者・新田長次郎温山翁が娘婿の建築家・木子七郎氏に設計を依頼した広大な庭園内に佇むスペイン風洋館です。